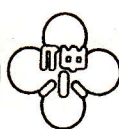


平成 27 年度
NO. 9
11 月 30 日発行
1 2 月号

仲町だより



なか よく
ま なぼう
ち からいっばい
練馬区立仲町小学校

次に生かす

校長 矢島 直行

今年も早いもので残すところ1か月となりました。平成27年もいろいろな行事がありました。それぞれの行事を通して子供たちは大きく成長しました。

先日開催されました展覧会には、大勢の方々にご参観いただきありがとうございました。心を込めて作った作品が体育館を埋め尽くし、美術館に変身しました。子供たちは、自分の頑張ったところや友達のよいところを見付けるなどしながら鑑賞しました。友達が工夫してよかったところは、今後自分の制作に生かしていけるようにしたいです。

10月29日(木)には、オリンピック・パラリンピック教育推進校の取り組みとして、ロンドンオリンピックの十種競技に出場した、右代 啓祐選手をお招きしました。最初は5年生と6年生を対象に、実技指導をしてもらいました。走り幅跳び、走り高跳び、ハードル走、100m走を代表児童が挑戦しました。走り幅跳びと走り高跳びでは、アドバイスをされた成果を発揮することができ、記録を伸ばすことができました。また、100m走では実際に競争しました。子供たちは、右代 啓祐選手に迫る見事な走りをしました。

次に、全校児童を対象に講演がありました。「夢をかなえるために大切なこと」として、

○誰より努力する ○失敗してもあきらめない

この2つが大切であると話されました。世界でメダルをとるためには、世界に目を向けないといけない。ライバルの存在は大切であり、1人では強くなれないとも話されました。

また、色紙に書いていただいた言葉に、「弱点こそ 伸びしろ」があります。これは自分の弱点、苦手なものを克服することにより、自分自身大きく成長することができるということだと思います。例えば、漢字を苦手としていたら、一生懸命練習に取り組むことにより漢字を覚え、文章を書く力が身に付き、国語の力が向上します。自分の課題に向かって練習、努力を積み重ねることが大きな成長につながります。このように、今回の講演で学んだことを、これからの学校生活に生かしていきたいです。

さて、一年が終わろうとしているこの12月。学校では4月からの教育活動を振り返り、次年度に向けた教育計画をたてていきます。

「すべての教育活動は子供たちのためにある」を常に念頭に置き、

【明日が待たれる学校】

【確かな学力が身に付く学校】

【家庭と地域と学校が連携した学校】

【安全・安心な学校】

を目指し教育活動に取り組んでいます。

本校の教育活動を教職員が振り返る(学校評価)とともに、保護者、地域と学校評議員の皆様、子供たちからの学校評価(アンケート)も生かし、学校と保護者、地域の皆様と連携しながら教育活動をさらに充実したものにしていきたいと考えています。保護者と地域の皆様の学校評価(アンケート)のご協力をよろしくお願いいたします。学校評価の集計結果につきましては、報告書及びホームページにて皆様にお知らせいたします。